

## 第6学年 道徳科(人権)学習指導案

- 1 主 題 差別のない社会へ ～今を生きるわたしたちにできること～  
 2 主題設定の理由(省略)  
 3 ねらい  
 差別解消に向けて取り組んできた人々の思いや願いに共感させ、自分たちにできることを考え行動しようとする態度を育てる。

### 4 指導計画

- (1) これまでの学習  
 道徳科「差別のなかでたくましく生きた人々」(ひかり)・・・ 1時間  
 社会科「人権獲得をめざして (1) 洪染一揆」(ひかり)・・・ 3時間  
 社会科「くらしをささえた仕事や伝統文化」(ひかり)・・・ 2時間  
 社会科「人権獲得をめざして (2) 解放令」(ひかり)・・・ 2時間
- (2) 現在の学習  
 道徳科「人権獲得をめざして (3) 水平社運動」(ひかり)・・・ 3時間(本時3/3)
- (3) これからの学習  
 道徳科「人権獲得をめざして (4) 教科書無償の運動」(ひかり) 1時間  
 総合的な学習の時間「識字学級と学習会」(ひかり)・・・ 2時間  
 総合的な学習の時間「人権が大切にされる学校づくりをめざして  
 ～〇〇プロジェクト～」・・・ 3時間

### 5 本時の学習

- (1) 目 標  
 差別解消のために団結して立ち上がろうと水平社を結成した人々の生き方から、自らも差別を解消するために行動していこうする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	C-(13) 公正, 公平, 社会正義
-------------	---------------------

- (2) 個別人権課題名 同和問題

- (3) 展 開

学習活動	指導上の留意点
1 前時の振り返りをする。	○水平社宣言にこめられた差別をなくしたいという強い思いや、新しい世の中を切り拓いていこうとする情熱や知性を振り返らせる。 ①
「現代版〇〇宣言2021」を西光万吉さんに届けよう。	
2 宣言文を考える。	○水平社宣言が出されてから100年たった今も差別が残っている現状に対して、今の自分たちが宣言したいことを考えさせる。
3 グループで話し合う。	○一人一人の思いを発表する。 ③
4 グループごとに宣言文を発表する。	○思いを共有し、それぞれのグループのよさを見つける。
5 本時の振り返りをする。	○100年前の思いを引き継ぎ、自分たちの力で差別解消をめざそうという意欲を高めさせる。 ②

- (4) 評価

- ・宣言文にこめられた差別解消への強い思いや未来を切り拓いていこうする行動力のすばらしさを理解することができたか。 (知識的側面) ①
- ・差別をなくしていくのは自分自身であることに気付き、行動していこうとする意欲を高めることができたか。 (価値的・態度的側面) ②
- ・友達の意見を聞いて考えを深めたり、自分の思いや考えを伝えたりすることができたか。 (技能的側面) ③